

“観せる”ために隠そう！

美術評論家

伊藤 誠（文・写真）

★禍福はあざなえる縄の如し

まずいことの後にはいいことがやって来る—そんな格言があったかどうか忘れたが（さしづめ古い所で）禍福はあざなえる縄の如し。とても言うておくか、丘の絶壁の合い間にちょうど人が一人通れる位の割れ目と小道を発見。そこを入って行くと細い道が蛇行しながら上っており、やがて狭い道の両側に小さな住まいがそれなりに連なり始めた。（それらは外から全く見えなかったし、人が住んでいるなど考えてもみなかった）そして少し広くなった場所

これも一期一会か。
三十余年前、アテネのアクロポリスの丘への上り道で一人の日本人青年から声をかけられた。こちらも一人だったで声をかけ易かったのかも知れない。丘への上り道をご存知ですか、というのである。実は昨日、私は失敗した。丘への上り道は一本道—と案内書に書いてあるので安心し、実は迷ってしまったのである。青年も同様な目に合っているであろう。

アテネ市は人口約二五〇万人と聞いた。わが神戸市を上回る大都市ではあるが、街のたいていの場所から見えるのが比較的平らな街なかに一際抜きん出て聳えるアクロポリスの丘。海拔一五六米。街の中心部からバスでふもとの上り口まで行けると教えてはもらったのだが、歩いたって知れてるよ、と

いう声の方を採用させてもらい、いろんな所を見ながら歩きつつ窮極丘へ上ってみようと思かけたのである。
ところが丘へは段々と近づいていく



パルテノン神殿跡

ものの、一本道で分り易いというその上り口が一向に出て来ない。後で気づいたのだが、丘の周辺のほとんどは堅固な絶壁。ややなだらかそうな一角には（何となく名所らしくない静けさが変だった）料金を取る入り口が幾つかあって、その中の一つへ入り見回してみると、それは金網で囲われた一定の範囲の遺跡を見せるだけで、丘への上り口には通じていない。それにその周辺にはほとんど人影がないのである。おかしい？ 別の料金支払い所の窓口で退屈そうにしている係りの者に「アクロポリスの丘へはここから入れるの？」と英語できくと、相手は分っているのか分っていないのか、料金だけを請求する。諦めて、ともかく丘の上の方へねらいを定め歩いていくことにした。

着飾った若い男女二人を中心にしての、つつましいながら結婚披露のようであった。思わぬ光景に出会ってついうれしくなったのだが、後ろの方の人に



アクロポリス美術館

小声で「アクロポリスは？」と尋ねると、大勢が振り向きみんな笑顔で親切にある方向を一斉に指さしてくれる。いい場に出会ったものだ、思わず心はずんだものである。

その昨日の今日だ。今度はあらかじめしっかりと上り道を確認してやって来たわけだから（むしろあの細道がどこにあったのか、今となつては分らない）、よければいっしょに——と彼を今まで案内することにした。私自身が昨日は最初の出来事で何となく心落ち着かず、しかも見落しがあった感じでもあったための出直しである。

途中話しながらの内容では彼は大学在学中。実のところ昨今ほど若者が独りブラリと海外へ出られる時代ではなかったと思うのだが、親に無理を言つて休学し、飛び出してもう一年半ぐらい旅して来たという。何か得た？と聞いてみると「よくは分らないが世界は広くて面白いと感じました」とか。そして、このギリシャを最後に東京へ帰って復学し、卒業したら迷っていた家業の何代目かを継ぐことに決心しました、と晴れやか。そして、全くの予備知識なしで飛び出したので、その土地々々で急場の勉強をしています、この丘のことご存知でしたら少しでも教えて頂けませんか、とこれも屈託がない。こちらも大したことはないけれど、まずはそれなりの話を……

この丘の上には古代ギリシャ時代の盛観をしのばせて、パルテノン神殿やエレクトイオン神殿などの跡がたくさん残っている。微妙なふくらみを持つた太い柱の列、はるか上方の破風に刻まれた彫刻のあれこれ、崩れたままに積み上げられた破片の数々、そして足元に横たわる丘そのもの……すべてが石。つまりはこのアクロポリスの丘は大理石文化の象徴みたいなものだ。そして、忘れてならないのが、すべて古代遺跡（中には復原のものもあるが）

建造物の中で唯一今日の息吹きを伝えてくれるアクロポリス美術館。



アクロポリスの丘を見上げると……

★やはり野に置けレンゲ草

丘上の面積は数千平方メートル。その東南の隅に小さく縮こまるようにして館はある。初め見てちよつと驚ろいたのは

一階しかないのに、半分ぐらい地中へめり込ませるように造られていて、まるで顔を出すと言われているような格好。これは当然あたりの景観を壊さぬための配慮であり、また丘の下から見上げた際にも隠れてしまっている方

が古代的情緒豊かと取れるせいでもある。館内にはこの丘に遺されていたアルカイック期の人体彫刻や破風類のかげらが一〇〇点前後整然と列べられていて、誠に気持ちがいい。もっとも前記の配慮等からすれば、わざわざ丘上に小美術館など創らず、街なかの国立考古博物館あたりへ収めた方が——とも考えられようが、丘上の遺跡風景、さらには丘から眺める遠く一円の景色、特にエーゲ海の青をそのまま映したといわれる空の色の見事さを思えば、自然にかつて彼ら（？）が堂々かつ伸び伸びと突つ立ち、かつ飾りとなつていたこの土地にこそいつまでも居させてやりたいという気持ちに駆られる。大博物館での展示もよからうが、やはり野に置けレンゲ草だ。アクロポリスの丘やかつてそこにあった美術品の美をより強く感受してもらうために、その場にこそ必要ではあるが、雰囲気的には今日風美術館の存在はできるだけ薄めるようにした方が……

あれこれの説明を聞いてくれた彼は、やがてポツンと言った。「生まれた場所に腰を据えるっていいもんですよ」名乗り合はしたが、住所まで言い合つたか、すでに忘れていた。彼元気でいたら、今ごろきつと江戸前がいい。旦那。……になっているだろうな。

PLAY

宇野千代生誕101年
劇団神戸公演「薄墨の桜」

咲き誇る桜の花影のもと激しく生きた3人の女性。きものデザイナー、料亭の女将とその養女を襲う悪夢のような悲劇。劇団神戸の看板女優・小倉啓子がひとり3役を演じ分ける。原作は、生誕101年を迎えた宇野千代の小説で、宇野自身がデザインした「薄墨の桜」の振袖が再現されているのも見どころのひとつ。脚色・演出、夏目俊二。

日時 3/13(土) 18:00
3/14(日) 14:00
4/10(土) 14:00 (大阪テイジンホール)
場所 神戸朝日ホール (神戸大丸東へ50m朝日ビル)
料金 前売3500円 当日3800円
問合せ 劇団神戸 ☎078-334-1755

プレゼント欄参照



女3人を演じる小倉啓子

PLAY

劇団ふおるむ 第24期スタジオ生卒業公演
「GODZILLA ゴジラ」

恋人を家族に紹介しようと家に向かうノ瀬家の長女やよいと、やきもきしながら待つ家族たち。ここまでは普通のホームドラマ。でも、その恋人はゴジラだったのです。人類史上希にみるスケールで展開される、おかしきも哀しい愛の物語。88年岸田國士戯曲賞受賞の大橋泰彦作「ゴジラ」をフレッシュなキャスティングで贈る。演出、小林哲郎。果たして特撮はあるのか？

日時 3/27(土) 15:00 19:00
3/28(日) 13:00
場所 フレンテホール (JR西ノ宮駅前西宮フレンテホール5F)
料金 一般1800円 (当日2000円) 高校生以下1500円 (当日1700円)
問合せ 劇団ふおるむ ☎078-412-3008

プレゼント欄参照



劇団ふおるむ第24期生

CINEMA

市民映画劇場3月例会
「タンゴ・レッスン」('97年/英・仏/102分)

パリを訪れた映画監督サリー・ポッターは、哀切なメロディーに誘われタンゴのステージへ。官能的な踊りに魅せられた彼女は、パブロ・ベロンというダンサーにタンゴを習い始める…。'92年の「オルランド」で脚光を浴びたサリー・ポッター監督・脚本・主演の愛のドラマ。「悲しみのミロンガ」などタンゴの名曲もたっぷり聴けます。主催の映サでは4月からの新会員を募集中。この機会にぜひ！

日時 3/19(金) 20(土) ①11:00②13:00③15:00④17:00⑤19:00
場所 神戸朝日ホール (神戸大丸東へ50m朝日ビル)
料金 前売1300円 当日1500円 (会員1100円)
問合せ 神戸映画サークル協議会 ☎078-331-8538

プレゼント欄参照



サリー・ポッター監督・脚本・主演「タンゴ・レッスン」

ART

赤(手)塚不二夫のギャグマンガ展
「マンガのおもしろさって何なのダ」

「天才バカボン」などのギャグ漫画で知られる赤塚不二夫だが、意外にも(?)漫画家になろうと決心したのは、子供のころ手塚治虫の初期の名作「ロストワールド」を読んだとき。また、ストーリー漫画専門だと思われがちな手塚の作品にも多くのギャグ表現が登場する。両者の直筆原稿や立体展示により、漫画のおもしろさを探るのだ。これでいいのだ。ニャロメ！

日時 ~4/27(火) 9:30~17:00 (入館は~16:30) 水曜休
場所 宝塚市立手塚治虫記念館 (阪急宝塚駅下車)
料金 一般500円 中高生300円

プレゼント欄参照



© フジオ・プロ/手塚プロダクション

MUSIC

★チキンジョージ

中央区下山手通2-17-15

☎ 078-392-0146

休/不定

3/11(木)12(金) TokyoSkaParadiseOrchestra、
3/13(木) the pillows、3/14(日)「新月 to the moon」coverd Gargoyle vs Gargoyle、3/26(金) 新井英一、4/8(木) FANATIC◇CRISIS

★ロスヒーターズ

中央区下山手通2-17-15

☎ 078-391-5431

休/水、営業/17:00~23:00

日/高橋、田路、藤塚 (g)、月/高橋、今吉、藤塚 (g)、火/石川、大橋、他1名、藤塚 (g)、木/石川、村田、他1名、藤塚 (g)、金/大橋、村田、永井 (g)、土/高橋、田路、今吉、大橋 (g)

★ピアジュリアン

中央区加納町4-3-2 藤ビル9F

☎ 078-391-8081

休/無、営業/昼11:00~17:30夜18:00~翌2:00 (ライブは19:30~)

月~金14:00~17:00「午後のティールーム」内藤佳代子 (p)

3/15(月) 小笠原薫 (vn) 井上佳子 (p)、3/16(火) 平岡舞子 (vn) 高橋智子 (p)、3/17(水) 高橋菜麻 (p)、3/18(木) 杉本泉 (sp) 近藤美香 (p)、3/19(金) 宮本由佳子 (sp)、赤塚祥子 (p)、3/20(土) 吉岡綾子 (vn) 高橋智子 (p)、3/21(日) 赤塚祥子 (p)、3/23(火) 中井亮子 (p)、3/24(水) 高橋菜麻 (p)、3/25(木) 杉本泉

(sp) 近藤美香 (p)、3/26(金) 平岡舞子 (vn) 高橋智子 (p)、3/27(土) 中井亮子 (p)、3/28(日) 山本朋子 (hp)、3/29(月) 小笠原薫 (vn) 井上佳子 (p)、3/30(火) 宮本由佳子 (sp) 袖野亜希子 (p)、3/31(水) 高橋菜麻 (p)

◇3月特別企画◇

3/5(金) 弦楽四重奏、3/6(土) 矢野正浩 (fl)、3/12(金) 清水希美 (sp・二期会)、3/22(月) 八木孝之 (クラシックギター)

★T2楽屋

神戸市中央区山本通2-8-15 北野ローズガーデン2F

☎ 078-242-5888

休/無、営業/18:30~翌4:00

3/9(火)「ブルース人旅」横井勝己 (g、vo)、3/16(火)「Blues Alone」ロメル・アマド (g、vo)、3/20(土)「LJバング」、3/21(日)「パレルハウス」夜「福島イワオ (vo) 光森英毅 (p) 佐野東洋 (sax) 中島孝昌 (b) 井上尚彦 (ds)、3/23(火)「ModernBlueDuo」福田紳吾 (g、vo) 富永寛之 (g、vo)、3/28(日)「LAST SUNDAY NIGHT」天野SHO (b、vo)

★サテンドール神戸

中央区中山手通1-26-1 バッカスビル2F

☎ 078-242-0100

休/無、営業/平日18:00~翌2:00、日祝18:00~24:30

(月) 田谷真理子 (vo) グループ、3/16(火) 23(火) 30(火) 奥田治 (g) クインテット、3/17(水) 岩城隆夫 (ts) カルテット、3/18(木) 溝口恵美子 (vo) 濱村昌子 (p) トリオ、3/19(金) 鈴木央紹 (ts) カルテット、3/20(土) 濱村昌子 (p) トリオ、3/21(日) 28(日) 東川幸詞 (tp) カルテット、3/24(水) 松原衣里 (vo) 濱村昌子 (p) トリオ、3/25(木) 三木俊彦 (as) カルテット、3/26(金) 土岐英史 (as) トリオ、3/27(土) 松田年宏 (g) カルテット、3/31(水) 濱村

昌子 (p) トリオ

◇おすすめライブ◇

3/12(金) マーリン (vo) アルバム発売記念ライブ前売¥6800当日¥7500、4/2(金) 藤井貞泰 (p) トリオ、4/9(金) 岩瀬章光 (p) トリオ

★Holly's

中央区加納町2-4-10 水木真珠ビル1F

☎ 078-251-5147

休/日、営業/18:00~24:00

3/15(月) 松本マリ (p) 井手厚 (b) 宮本良治 (d)、3/18(木) 宮下博行 (p) 西垣昌也 (p) 高野正明(d)、3/19(金) 木村ヒロヨシ(p&vo) 中村恭一 (tp)、3/20(土) 三浦アツコ (p) 堀江ミカ (vo)、3/21(日) SALTY DOGS (pm1:00~チャージ ¥1000)、3/24(水) 織田沙由理 (vo) 織田典子 (p)、3/26(金) 木村ヒロヨシ (p&vo) 中村恭一 (tp)、3/27(土) 山口エミ (vo) 三浦アツコ (p)、3/29(月) 内匠由佳 (p) 日下部孝太郎 (b)、3/31(水) 井手正雄 (tb) T-boneオーケストラ

コンサートチケットプレゼント

阿藤子らフラメンコ教室コンサート'99

「Fin de Curso Concert'99 KOBE・OSAKA」

●神戸公演

日時 3/21(日) 16:30開場17:00開演

場所 神戸文化大ホール

●大阪公演

日時 3/22(月) 16:30開場17:00開演

場所 大阪国際交流センター大ホール

料金 2000円 (自由席)

各公演5組10名様にチケットをプレゼント。ご希望の方はハガキに希望公演場所、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、〒650-0003神戸市中央区山本通4-2-13 株式会社アイ・エス・エー「チケットプレゼント」係まで3月15日必着

TICKET PRESENT

<ART>

★宝塚市立手塚治虫記念館 (4/4/27「赤(手)塚不二夫のギャグマンガ展」有効・2名)

<PLAY>

★神戸朝日ホール (3/13・14劇団神戸「薄墨の桜」有効・ペア5組)

★フレンテホール (3/27劇団ふおるむ「GODZILLA ゴジラ」有効・ペア3組)

<CINEMA>

★神戸朝日ホール (3/19・20「タンゴ・レッスン」有効・ペア3組)

★パルシネマしんこうえん (4月末まで有効・2名) ▷3/1「不夜城」「裏面の聖者」▷3/2~11「普通じゃない」「フラッド」▷3/12~24「ム

トゥ」「踊るマハラジャ」▷3/25~「マスコ・オブ・ソロ」「相続人」

★シネマザイク1~4 (4月末まで有効・2名) ▷「エネミー・オブ・アメリカ」▷「レ・ミゼラブル」▷「微笑みをもう一度」▷「メリーに首ったけ」▷「パッチ・アダムス」▷「〜3/5「リング2」「死国」▷3/6~「ドラえもん・のび太の宇宙漂流記」他2本

★a b シネマ1・2 (4月末まで有効・2名) ▷1▷3/5「ジョー・ブラックをよろしく」▷3/6~「パイプ都合へいく」▷2▷「ウェディング・シンガー」

★ベレーネシネマ (4月末まで有効・ペア5組) ▷3/5「北京のふたり」▷3/6~26「ウルトラマンガイア (2本立) (入替)」「99東映アニメフェア (3本立)」▷3/27~4/23「ガムラ」▷4/24~5/14「クレヨンしんちゃん (2本立)」

★カナートホール (4月末まで有効・

ペア5組) ▷3/5「北京のふたり」▷3/6~4/16「ドラえもん・のび太の宇宙漂流記」他2本▷4/17~5/21「名探偵コナン3」▷午後入替▷4/10~23「たんとくくわ」▷4/24~「イン・アンド・アウト」

★西瀬劇場・シネマ (4月末まで有効・ペア5組) ▷3/5「怒るシャンソン」「原色バリ固飯」▷3/6~4/2午前「ウルトラマンガイア」午後「ニキータ」「レオン完全版」(シネマは成人映画)

●ハガキカファクシミリで①希望する館名(朝日ホールの場合はタイトルも)②住所③氏名④年齢⑤職業⑥電話番号⑦3月号で面白かった記事を書いて下記まで(3/15必着)⑧もたかる担当者への誕生日(3/2)メッセージもよろしく!

〒650-0011神戸市中央区下山手通3-1-18 ツインズアビル4F (FAX078-331-2795) 月刊神戸子「もたかる9903」編集室

MODE CULT'S VOICE

●2月号、玉岡お

るさんの「神戸25時・彼と彼女のストロギー」、いいですね。木村光聖さんの「さようなら、キングス・アームス」もよ

かったけど、ルボより小説が読みたい。

須磨区・JJさん
○今月号より、現実(ルボ)と虚構(小説)の境界線を描く木村光聖さんの新連載が始まりました。ご愛読ください。

●「ルポルタージュ神戸」を毎回楽しみにしています。でも、最近ちょっと中だるみ? 神戸であまり知られていない(知っているようで知らない)ことをもっと教えてください!

灘区・KNさん

●「おなじみプロフェッサーの研究室」は安定して面白いですね。もうひとつの「ヤジマンガ」はちょっとへん。

灘区・MMさん

○ヤジマンガは永遠に不滅です! 「もたかる」にお便りをお寄せください。もちろん映画等のチケットを差し上げます。宛先はプレゼント欄を見てくださいね。

MOSA
サザンオールスターズ
史上初の展覧会
The Museum of Southern Art
●3月16日(火)~4月5日(月)
＜会期中無休＞
●6階神戸阪急ミュージアム

入館時間: 10時~7時
(最終日は4時30分まで)
7時30分開館、最終日は5時閉館
入館料: 一般(中学生以上) 500円(300円)(税込み)
小学生以下および65歳以上の方は無料(証明書をご提示ください)()内は前売りおよび団体10名様以上の料金。

主催: MOSA実行委員会
協賛: 三菱電機(株)、アイシーエクスプレス(株)
特別協力: ビクターエンターテインメント(株)、サザンオールスターズ応援団
企画製作: (株)アミューズ
製作: (株)オーク
神戸阪急3月中は休みません。

神戸ハーバーランド
神戸阪急
電話(078)360-1231
阪急東宝グループ



Keep curiosity,
Observation,
Balance...
Evermore!

イベント特集

★「水のある風景」開催中

近代美術館で3月22日まで

古今東西、人間にとって不可欠なものとして珍重されてきた「水」。生活に密着しているだけでなく、自然の風景や、神秘的な意味においても「水」は、様々な形態でわれわれと深く関わっている。

もともとは透明な液体であるこの水を描くとき、芸術家たちはどのような表現を用いてきたのだろうか。日本の近代版画、近代洋画および日本画、写真作



中山岩太「雨 (2)」1935-45年



元永定正「作品<水>」1956年 (87年再制作)

品、現代美術まで約140点を並べ、美術における水の役割や効果について考える。

■WATERSCAPE 水のある風景

兵衛興立近代美術館
開催中 3月22日 (月・祝)
10:00~17:00 (入場は16:30まで)
月曜休館 (3月22日は開館)
一般700円 大高生500円 小学生300円 (20名以上の団体はそれぞれ一人につき100円引)

神戸市灘区藤田通3・8・30
078・801・1591

★木彫の大型作品が一同に さんちかホールに集合

木彫の師範クラスの人々がたくさん参加している「はちのす会」



渡辺一生活長「佳奈ちゃん」

が、3月18日~23日まで、3年ぶりにさんちかホールで作品展を開く。今回ですでに12回目。

出品される作品は約100点で、レリーフやムードランプ、いすなど、ベテランでも作るのに何年もかかる、めったに見ることができない大作ばかり。

残念ながら作品は展示のみで販売は行われないが、渡辺一生活長と渡辺二筆副会長の本の販売がある。

■第12回本彫はものす会作品展
さんちかホール 入場無料
3月18日 (木) 23日 (火)
10:00~19:30 最終日は18:00まで
神戸市中央区三宮町1・10・1
078・322・1433
問合せ/はちのす会本部 渡辺一生活長
078・233・3300

★マナー啓発イラスト展 フェニックスプラザで開催

3月29日から、フェニックスプラザで美しいまちづくりのため

のポスター・イラスト展が開かれる。テーマは地球環境。

今回そのイラストを手がけているのがステンドグラス作家の中井初夫さん。独特のタッチと色使いで、人間や動物の表情がユーモラスに描かれている。

「マナーに関するテーマなので、お仕着せにならず楽しんでもらえる作品に仕上げました。」

30数点の作品は笑った後に思わず考えさせられ、じつくりと見たくなるものばかり。

ステンドグラスの教室も開いている。問合せは中井工房まで。



ゴミの不法投棄に悩む海の生物 (写真上)
作者の中井さん (写真左)



■美しいまちづくりのためのポスター・イラスト展
フェニックスプラザ 入場無料
3月29日 (月) ~ 4月12日 (月)
10:00~19:00

誕生日ありがとう運動

「精神薄弱」から「知的障害」へ?

昨年十一月号のこの欄

でも募集しました用語アンケートは目標の二倍を越す四千あまりの回答が得られました。全国のみなさんの関心に本部ボランティアもとても勇気づけられました。ここに回答結果を報告いたします。



◎用語「知的障害」への変更に賛成.....20・8パーセント

・人権侵害にならない
・今まで使われているからなど

反対.....42・4パーセント

・人権侵害をもたらす差別語
・「障害」の言葉は人間につかつべきではない
・差別を助長するなど

どちらともいえない...33・4パーセント
提案された用語には、「知力支援」「生活支援」「知的支援」「ハンディキャップ」「福祉生活支援者」などがありました。

これを機会に、不快感を与えない言葉を考えていきたいと思います。

— M・F —

誕生日ありがとう運動本部
〒650・8790 神戸市中央区中町
通4・2・11 村上ビルB1
TEL&FAX 078・360・1257

神戸市中央区三宮町1-7
☎078・325・8558
問合せ/中井工房
神戸市中央区舞合町字口城山
☎078・242・0251

★ 古本市を開催！ 眠っている本はありませんか？

(財)神戸学生青年センターでは被災した留学生・就学生の支援活動として全国からの募金をもとに六甲奨学基金を発足。アジアからの留・就学生の中から県下で毎年5名、奨学金の支給を行っている。募金活動の一環で、第2回古本市を開催。家で眠っ

花時計



発想転換「スピードの時代」

凄まじいほどの不況だと言われている。神戸の街はまだその上に震災被害から抜けきれていない。このような窮地を脱する処方箋はないか。震災後いよいよ5年目になる。確かに徐々に自助努力が移つて、街並みも復興のきざしが見え、神戸らしい光景も蘇りつつある。しかし、いまだにこの程度の復興であれば、まだまだ10年も20年もかかるだろう。



昨年の古本市には全国からたくさんの本が集まった

ている本があれば、ぜひ協力していただきたい。

単行本・文庫本・絵本・辞書・マンガ・洋書などジャンルは

今や「fast moving」(速いもの)が流行るのを食べる)時代だと言われている。

「従来通り」という仕組みでは通らない。「柔軟さ」で対応し、さらに「俊敏さ」がなければ、時代の変化を乗りこえることはできないと経済評論家の伊藤洋一さんは力説する。「変化の加速」にどう即応するか、それには新しいものに寛容でなければならぬ。モノの考え方に「しなやかさ」がなくては到底変化についていけない。そうすると従来の「合意形成」型と「縦割り」型のやり方は最悪の組み合わせであるという。

神戸の震災復興では、思いきつた復興ビジョンを掲げ、果敢に、そして始ど神戸の体質を変えるほどの施策が必要ではないか。

◎Y・Y◎

不問だが、汚れや破れのひどい本・雑誌・教科書・参考書・古いコンピュータ解説書などには不可。3月31日までに送料自己負担で送付または直接持参。

第2回古本市

3月15日(月)～15日(土)

(財)神戸学生青年センター

〒657・0064

神戸市灘区山田町3-1-1

☎078・851・2760

★ 明石海峡大橋1周年記念コンサートに行こう！

明石海峡大橋の開通1周年を記念し明石市民会館大ホールで無料コンサートが開かれる。

内容は「春が来た」「川の流れるように」など、誰もが楽しめる曲ばかり。希望者は往復ハガキ(1枚につき2名入場可)に氏名・住所・連絡先を記入し、〒673・0846明石上ノ丸郵便局留で。

※先着1000名だが、「神戸っ子」と書くことで優先席あり！

■1000人の童謡唱歌音楽祭

明石市民会館大ホール

3月28日(日) 14:00開演

★ 3月22日チャリティ映画会「エルマーの冒険」文化Hで

心やさしい少年が不思議な島



リュウを「動物島」から助け出せるか？

に捕えられていたリュウの子どもを助け出す「エルマーの冒険」が初の劇場アニメになった。小室フアミリーが音楽全般を担当した話題の作品。司会には放送タレントの耕笑園てつやさんと、映画のほか、お楽しみタイムも。

主催は「愛の手運動」の運動母体である社団法人家庭養護促進協会で、毎年チャリティ上映会を行っている。

愛の手運動とは、昭和37年より新聞社、放送局、児童相談所、一般市民の協力を得ておこなっている運動で、事情があつて親が育てられない子どもたちに里親を求める民間運動で、毎年50人ほどがこの運動を通して里親に迎えられている。

■エルマーの冒険

神戸文化ホール(大倉山)

3月22日(祝) 開場13:45/お楽しみタイム14:00/14:30/映画の上映14:30/16:10

前売り900円/当日1000円

申込み・問合せ/社団法人家庭養護促進協会

☎078・341・5046

KOBE POST

★国際プロバミスト神戸(古市愛子会長)が、99年度のチャリティバザー。障害者の自立に愛の支援を。の収益金で社会福祉法人神戸明輪会にトレーニング用の機器を贈呈したいと計画。3月25日(木)11時15時、神戸ポートピアホテル(地下宴会場)にて開催。

★舞子焼の再興に尽力され、神戸木沢窯を築かれた南沢さんの一息(4月6日)を前に、3月26日(金)、作品展「天衣無縫の人生を生きたる」の出版記念会が生田神社会館で開催される運びとなった。会費1300円。問合せ先/出版バザー・事務局〒650・0044神戸市中央区東川崎町1-5・7神戸情報文化ビル9F神戸新聞総合出版センター内 ☎078・362・7140(代)

★2月20日14時18時、兵庫県日韓親善協会(会長・砂野耕二)の新年懇談会が、在日本大韓民国兵庫県地方本部5・6階ホールで開かれる。記念講演会には大韓民国国會議員・趙済昇氏をはるる韓国から招待。会費7000円(大半以下5000円)。申込先/兵庫県日韓親善協会 FAX 078・371・9568

★株式会社海皇および海皇グループ代表取締役社長の澤田舞氏が本年1月より代表取締役社長に、新代表取締役社長には澤田氏が就任された。

★株式会社タイエーの中内切氏が本年1月20日代表取締役社長に就任、新代表取締役社長には副社長の鳥羽氏が就任された。

★株式会社大月真珠の大月真珠会長が1月13日に享年77才で亡くなられ、翌月16日に神戸国際会議場に社葬がとりおこなわれました。

★株式会社コモボリタンのヴァレンティン・F・モロゾフ氏が1月23日に数え年88才で亡くなられた。

★株式会社淡路屋の寺本淳巳相談役が1月27日に享年85才で亡くなられ、翌28日に中興寺で告別式がおこなわれました。



Book

Selection

神戸っ子おすすめの本をご紹介

白夜の国

東山魁夷 著

一九九九年一月一日発行の詩画集

プロローグに、「北欧の風景が、その森や湖が、私を呼んでいるように感じているのである。私の求めているものは死ではなくて生である。だから、きびしく陰鬱な冬のとてに芽生えてくる北欧の春を見た」と思っていた。また、深夜の太陽に照らされた風景の神秘を見たと思った」とある。静寂と浄福が美しい白夜。北欧三国の美の世界は、震災から四年目を迎えた心を癒すノスタルジックな旅の風景へ誘う。



白夜の国
ビジョン企画出版社
本体2500円＋税

未明の街

阪神淡路大震災

写真／濱田 収・詩／蘆 進容・写真／小林正典・文／黒田 清

時の経過とともに薄れゆく記憶の中、本書から放たれるメッセージは様々な、本々くあるような題材の写真があるかと思え



未明の街
大月書店
本体2500円＋税

神戸、心の復興

何が必要なのか
NHK神戸放送局 編



NHK出版
本体2000円＋税

トアロードのNHK神戸放送局の建物とは四年前の震災で全壊した。世界中に発信された放送局内の震災風景は、今も記憶に新しい。震災を体験し、被災地の取材報道を続けたジャーナリスト達が、四年を経た復興神戸の中で、被災者一万人にアンケート

調査をし、被災者の肉声を伝えたいとこの一冊を上梓した。被災地の今の姿が、日本の近未来とオーバーラップするような気がしてならないという神戸放送局ニュースデスク出口直氏。心の復興はこれから始まる。

時間のない時計

ある痴呆医の黙示録
藤記義一 著



編集工房ノア
本体1900円＋税

筆者は満州医科大学を出て陸軍軍医中尉としてトラック島の終焉に立ち会い、復員後は国立療養所兵庫中央病院内科医長、広野高原病院副院長。そして平成七年に、老人保健施設恵恵、翌年から老人保健施設佐野記念アットホームの施設長という経歴を持つ現役医学博士。たゆむとは時のほざま／時 それは人の意識の内にのみ夢みる／唯の心象／そう或る時は 瞬間／既に実在しない由にのみ／存在する傍きもの。『時間のない時計』より抜粋

中国鋼琴曲選

第一巻初級編／第二巻中級・上級編
張 文乃 編

二十世紀は「アジアの時代」といわれている。今年は中日平和友好条約締結二十周年にあたり、在日華僑の文化活動が益々盛んとなる。その中で、中国の音楽を発掘し日本人により親しまれるようにと、張文乃先生（神戸華僑協会混声合唱団指導、鈴の会音楽教室主宰）が中国鋼琴曲を初級、中・上級の二冊に分けて紹介。また、本書の発行元である旅日華僑音楽

協会的主催により、本年六月六日（日）に社団法人中華会館（東亜ホール）で第10回中国音楽コンクールが開かれる予定。



旅日華僑音楽家協会
本体1143円＋税

エプーとミャンゴの手紙

金月燈子・金月絵里香 著

一九八四年アメリカ・美術館のワークキャンプに参加していたアーティストの母と別の場所でもサマーキャンプに参加していた娘は、ひんぱんに手紙をやりとりしお互いの確信し合う。「うれしくて、うれしくてどうしようもないの」という。エプー、この娘の絵理香ちゃん。当時十一才の、生きる喜びに満ちあふれた毎日が清々しい。



日本図書刊行会
本体1500円＋税

月柱

柳谷郁子 著

むだがなく力強い文章・的確な描写力・オリジナリティあふれる表現力・モチーフの確かさ・人間観察の鋭さ、これだけすべてが揃ってしまつと、手堅くまとめているという印象を持ってしまうことが多いが、すべてが超一流。作者の力量はケタ外れ。



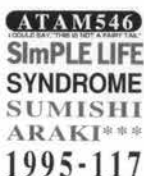
読売新聞社
本体1600円＋税

表題作よりも他の収録作品の方がさらに良いというところにも度肝を抜かれてしまった。心が締めつけられるような話なのに、小説を読む喜びといったものを感じさせてくれる完璧な一冊。

シンプルライフ・シンドローム

荒木スミシ 著

他人との同調の瞬間にだけ自らの存在を認め、心にもあてのまない哀しみを抱く、そんな登場人物たちが求めているのは誰も傷つけることのない「シンプルライフ」。無垢を失わず生きる術や本当の愛を探し、過ぎだした人生に真摯であらうとする程に傷つく繊細すぎる彼らの姿は、読者に過日の記憶を思い出させる。本書の謎を読み解くことは同時に自分の心の鍵を探ること。それでも皆、生きていく。違ひこそが人生を楽しむことに気づいて。しなやかで動くあれ！とエールを送る。



555レーベル
本体1200円＋税

詩集 跛行のとき

森 彌生 著

読んでいてグロテスクだと顔をしかめるのは男。夢みていたから。頷くのは女。リアリストだから。



日東館出版
定価3000円



愛読者のためのコミュニケーションサロン

'99 KOBECCO CLUB NEWS

神戸っ子倶楽部法人会員募集中

「神戸っ子倶楽部」では、ただいま法人会員を募集しています。

小誌「月刊神戸っ子」は昨年11月号で450号を数えることができました。「神戸を愛する人々の雑誌、神戸っ子の心の手帖」として出版を続けてまいりました。「月刊神戸っ子」の後援会としてより力強いご支援を頂くために、神戸の有識者の方に発起人をお引き受けいただき幅広く、神戸の企業の皆様に法人会員をお願いするべく準備を進め、450号を以て発会させていただきます。

■事業

会員にご協力いただき、年2回ほど公開文化講演会を開催。その内容を「月刊神戸っ子」誌上に紹介し、神戸の文化振興にも寄与いたします。

■会費

神戸っ子倶楽部(法人会費)/月会費 一口5,000円
(但し、年会費として一括お支払いの場合には、年会費60,000円のところ一口5,000円とさせていただきます)

■特典

- 毎月ご希望の冊数の「月刊神戸っ子」を月10冊を限度にお届けします。
- 会費の一部を文化催事などへの招待、もしくは優待による参加費に充当します。

<神戸っ子倶楽部法人会員発起人名簿>

浅木幸雄氏 砂野耕一氏 今井啓介氏 岩田弘三氏 上島達司氏 岡崎晴彦氏 川上千鶴子氏 河野忠博氏 木下健氏 小本洋一郎氏 雀部虎四郎氏 瀬戸雄三氏 園田正和氏 田崎俊作氏 西村理氏 西村隆治氏 牧冬彦氏 光井章氏 宮崎辰雄氏 三輪吉郎氏 森実勉一氏 安岡利美氏 山根秀夫氏 吉谷博光氏 寄神茂之氏 (50音順)

<神戸っ子倶楽部法人会員名簿>

アサヒビール(株)神戸支社 淡路フェリーボート(株) 今啓パール(株) (株)エヌ・ケー・エコー・レーン (にしむら珈琲店) (株)オールスタイル総本社 カワノ(株) キリンビール(株)神戸支社 神戸商工会議所 (株)神戸新聞社 神戸地下街(株) (株)神戸ポートピアホテル (株)神戸マ

ツダモータース 沢の鶴(株) 監査法人大成会社 タカハシパール(株) 田崎真珠(株) 東亜外業(株) (株)ドンク (株)阪神銀行 パンダー化学(株) (株)ファミリア (株)ホテルオークラ神戸 三輪運輸工業(株) 森真珠(株) UCC上島珈琲(株) 寄神建設(株) (50音順・平成11年2月8日現在)

■入会お申し込み・お問い合わせ先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通3-1-18 ツインズトアビル4F
有限会社月刊神戸っ子「神戸っ子倶楽部」係
TEL.078-331-2246 FAX.078-331-2795

※尚、個人会員もひきつづき募集しております。(会費、特典等の詳細は、上記にお問い合わせ下さい)

月刊神戸っ子愛読者に贈る

SPECIAL PRESENT

1. 日本サウナ協会「サウナ入浴券」& SAUNA BOOK 10名様

3月7日の「サウナの日」を記念して、(社)日本サウナ協会が全国のサウナ(協会加盟店のみ)で利用できる入浴券をプレゼント。サウナは、疲労回復、肥満減量、全身美容等、ストレス解消にも効果絶大。サウナ愛好家の人口はますます増えているそう。いっぱい汗をかくて、さっぱりいい気持ちになろう!
(期限/3月7日~6月30日)



2. 神戸蘭展'99 ペアご招待券 10組様

世界から一堂に集う約5万株の蘭がその美と個性を咲き競う祭典「神戸蘭展'99」が、今年もポートアイランドの神戸国際展示場で開催されます。80店もの専門店による蘭の即売会や多彩なイベ

- 応募方法 (1~4共通)
官製ハガキに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、各応募先にお送りください。
- 応募先 (1~3のみ)
〒650-0011神戸市中央区下山手通3-1-18ツインズトアビル4F
(有) 月刊神戸っ子・3月号プレゼント係(編集部へのご意見・ご希望等お待ちしております)
※4については応募先・方法(別記)が他と異なりますのでご注意ください。
- 締切日 3月末日
(商品の発送をもって発表に代えさせていただきます)

ントなど、素敵な感動に出会う6日間。「夢の花園」で、春を満喫してね。(開催日程/4月6日(火)~11日(日)、当日入場券¥1,800)

3. ミュージック・グルム 『コンチェルト』ペア乗船券 10組様

「コンチェルト」に乗って、神戸港から明石海峡大橋を臨むクルージング。生演奏を聴きながら優雅な気分になるのも良し。デッキで春の爽やかな潮風に吹かれるのも良し。都会の喧騒を離れて、リッチなひとときを。(有効期限/5月末日 乗船券¥1,800)
*ランチ・ディナー・ティー・クルージング等も有。別途料金要。



4. ポルカンから有機栽培コーヒー 「カーレ・カディ」3名様

中南米コスタリカ最大の有機栽培農園「カーレ農園」で、化学肥料を一切使わず育てられたカーレ・カディ。ブルーマウンテンやハワイコナと並ぶ高級品としてヨーロッパ各国で嗜好され、日本には限られた量しか輸入されないという貴重な「カーレ・カディ」。豊潤な香りとコクをぜひ、この機会に。(200g、定価¥1,800)



●応募先 (4のみ)

〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-21-10 3F 有機栽培コーヒープレゼント事務局「月刊神戸っ子」係
*共通の応募要項に加え、「普段家で一日何杯コーヒーが飲まれているか」を明記してください。

■神戸の工房をめぐる 〈その17〉

神戸洋服の伝統と風格・技術に生きる

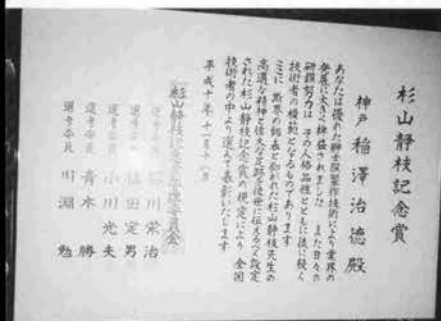
福元早夫 〈作家〉 撮影／米田英男



丁寧なものごしの稲澤さん。実直な仕事ぶりがうかがえる



裁断線がすっきりとして布のほつれもない



「杉山静枝記念賞」の賞状（昨年10月表彰）

★紳士服に繊細な手づくりの真心をこめて

創業が明治十六年（一八八三）という神戸洋服の、長い歴史と伝統を誇る『柴田音吉洋服店』の工房は、元町通四丁目にあった。「欧風館・神戸」の二階である。階段をのぼって行くと、裁ちばさみのシャキッ、シャキッという快い音がきこえた。

こここの、いまの経営者は四代目である。初代の柴田音吉氏は文明開化の遠い昔に、旧居留地のイギリス人のもとで修業をかさねた。その後、元町に店をかまえて、紳士服のあつらえ専門店としての、風格と信頼をつみかさねてきた。イギリスをはじめヨーロッパから直輸入した生地を素材に、客の体形を生かした個性的な背広をつくり続け

てきたのである。

工房で裁ちばさみの快音をひびかせていたのは、工場長でチーフカッターの稲澤治徳さんだった。そのむこうで、二人の職人さんたちが縫製の手仕事にまごころをこめていた。

「技術を身につけることを母親にすすめられて、この道を歩きはじめて四十年がすぎました。はじめは男が針をつかうことなど、想像もつかなかったのですがね」

仕事の手をやすめて、稲澤さんは人なつこい笑顔をみせた。親方についた丁稚のはじめの一年ばかりは、針のつかい方の訓練ばかりで、次がボタン穴づくりだった。その後、ズボンづくりを三年くらい修業してから、やっと上着づくりをやらせてもらえた。だから一人前の職人として自立するまでに、



（写真上）仕事場は広くて開放的

（写真下）まるで縫っていることを感じさせないような、軽やかな手つき

五年はかかるというのである。

工房内の職人さんたちは、そのいのちヨッキに蝶ネクタイである。紳士的でさわやかな雰囲気があったよって、そこに神戸服の伝統と風格と、すぐれた技術を目にする事ができた。高級な生地、職人さんたちの人がらと仕事ぶりが、仕上がりについていく製品に信頼感をあたえ、品質の保証を縫い込んでいるのがわかった。

「ひと言でいうと、平坦な生地を裁断して、アイロン加工によって立体的に仕上げるのですが、紳士服は縫製箇所に限界がありますので、その範囲内で立体的に、さらには流れるようなナチュラルなラインをくずさないように気を

つけています」

一着の洋服をつくるのに、カッターの責任は大きいと稲澤さんはいう。たとえば、はじめの採寸において、一人のお客にたいして十人が採寸した場合、個人差によって寸法がそれぞれ異なるのと同じように、裁断においても幾通りもの割り出しがあるからである。

「いずれにしても大切なことは、着心地のよい、シルエットの美しい製品に仕上げることです。そのためには、裁縫者が縫いやすいように、裁断には十分に気心を加えなければなりません」

洋服をあつらえるとき、まずお客の好みやデザインをよく聞いてから、その人の身体の特徴をとらえ、寸法をは

かる。そのとき重要なのは、体型の全体的な洞察と、長年の経験からくる微妙な勘をはたらかせるのが、職人の腕のみせどころである、と稲澤さんはいう。肩の左右のバランスや、腕の長さや背筋の線、股下の両脚の形態などが、人それぞれに微妙に違っているからである。

「仮縫いをして、次の工程で補正の作業をするわけですが、そのときに体型が変化していても対応できるのが、オーダー服の特徴です」

稲澤さんはこの世界では、一流の技術者である。平成三年に一級技能検定に合格している。平成六年には、兵庫県技術頭功賞を受賞している。「兵庫の匠」として業界の発展や後進の技術指導をはじめ、地域社会の振興のために積極的に活躍している。「個性的な技能は、活力のある社会の創造につながる」とキャラバン隊で各地の中学校や高校に講演にでかけたり、インターシップとしてこの工房に招いて、実地に指導してきた。若者たちの反響は大きかった。

「背広づくりの難しいのは、平面を立体化させることで、それに流行があるのだから勉強をしないと、技術に遅れをとってしまうのです。素材も薄く軽く、高級になっていきますからね」

平成十年の十月、稲澤さんはこの道



稲澤さんの作業を見つめる筆者

を歩くための目標であり、長年の夢であった「杉山静枝記念賞」に輝いた。技術や人間性のすぐれた点に加えて、過去の活動や実績などが総合的に高く評価されて、洋装界の最高峰にのぼりつめたのである。次の目標は「現代の名巧」に一步でも近づくことですね、と笑顔をみせ、

「採寸、裁断、着せ付け、補正、縫製と、全工程をまかせられる、十代の若い後輩を育てていきたいですね」と希望をのべてから、胸をはって、

「生地に値段の差はあっても、技術にはまったく差異はありません。どれも愛情がこめてあり、一着につき六万回のほそ針が、丹念にとおしてあるのですからね」

と、説得力のある声をひびかせた。



柴田音吉洋装店の技術を支える仲間とともに。宇野さん(右)と川口さん(中)



女優の黒田福美さんも来店



軽くてしなやかなウールの上着

神25時、彼と彼女のラストロジィ

—その3・うお座の男—

ピシスの午睡

玉岡 かおる イラスト・題字／高濱 浩子

パソコンの中で飼っている赤い魚が、その日、一匹、弱っていた。昨日、一匹死んだから、画面の水槽にはもう三匹しかない。

病名は尾腐れ病。薬を入れた別の小さな水槽に隔離して、すみやかに休息を与えてやらねばならなかった。

ぼこぼこぼこ。酸素を送る機械の音が響く画面の中で、私が救い出した赤い魚は、安堵したかのように泳ぎ回った。

「サーラ、あの男はやめておけ」

ふいに私の背中に向かってクニオが言った。

私と襄二がつきあっているのを誰から耳にしたのか、二か月ぶりで会うのに、彼は私のことを何でも知っていた。

「妻子持ちなんて、先で絶対、泣くことになるのは目に見えてるじゃんか」

私は返事をしなかった。

女性の部屋に入ってきて早々、その恋人をこきおろすクニオが腹立たしかつたのではない。恋人と同じ名前をつけた魚が泳ぎ回る伸びやかな姿に、つい昨夜、この部屋で抱き合ったばかりの襄二のしなやかな体を思い出したからだった。

いつにない私の静けさに、彼はふと自分の語気の強さを反省したのか、こう付け足した。

「俺が人のこととやかく言える筋合いじゃないのはわかっているけどさ。でも、……友達としては、忠告しないと」

友達。またその都合のいい言葉で、クニオは自分が傷つかないよう、まづしつかりガードしてから私をみつめる。

うお座の男の優柔不断が、その言葉には凝縮している。

「大丈夫よクニオ。あたし、負けるとわかってる勝負には手なんか出さないから」

ようやくパソコンから目を離し、私は長い髪をはらった。

「それぞれ、それだよ、サーラ。恋愛を勝負にしちまうところがいいないんだつちゅうの。お前が勝てば、泣く人ができるだろ？」

彼のこういうおせっかいなところを、私は決して嫌いじゃない。

「違うの。私は救済者だよ。もともとあの人たちは破綻してるの。今のままじゃ、あの人たち二人とも窒息死しちゃうような状況なの。だから助けてあげるだけ。私にはそれができるから」

大まじめな私の言葉を、彼は決して笑ったりはしない。

「とりあえず、お茶でもくれないか」

彼が好きなのはバニラのフレーバーコーヒィ。他には何も入れずに二杯飲む。決して紅茶や、苦すぎるエスプレッソでは喜ばない。

「ほらよ、いつものやつ」





そして彼が窓際のテーブルに、投げ出すように置いたトリュフの箱は、私が思わずわーい、と子供にもどつてしまう坂の上のホテルの包みだ。

お互いの好きなもの、嫌いなものをこんなにもよく知っていて、おまけに、黙っていてさえ、その静けさに侵されることのない、確かな領域を持つ二人。そんな間柄でありながら、いまだ友達というポジションから離れずに、クニオと私のつきあいは十年になろうとしていた。

その間、それぞれが行く道に起きたいくつかの起伏を、いつしよになつて越えてきた。占い師をしている私はそれが仕事でもあったのだが、堅気の電気技師であるクニオが私につきあつてくれるのは、彼の持つ希有なまでの人のよさのせいだった。

今日こうして彼が来たのも、数日前にバグってしまった私のコンピュータを見てほしいという必死のお願いに応じてくれたからで、せっかくの休みを、彼は私に捧げてくれようとしているわけだった。「それで？ そいつらはお前が救うとして、お前自身はどうなの？ あいつがお前を救ってくれることになつてるのか？」

クニオは時折、占い師の私よりも鋭いものの見方をしたりする。たつた一匹、解き放たれて自由になり、いまひそやかな午睡に溺れるデジタルの魚。彼は確かに私が救った。だが、クニオが言うとおり、私という魚はどこにいる？

「――俺にしろよ」

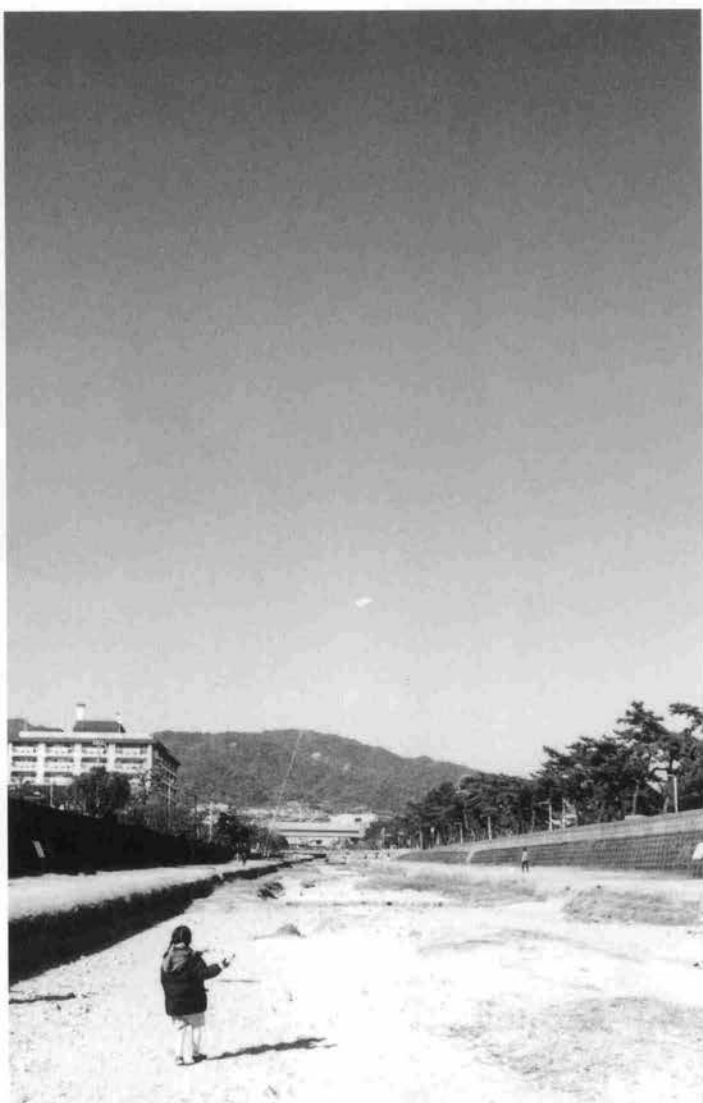
ふいにクニオがそう言った。らしくない言葉に驚いて彼を見たら、照れて笑った。

居心地のいい水槽の中から一人はじき出されている私を、彼は救える気なのか。つかのまの午睡に、魚の病んだ尾が小さく震えた。

海岸線、西へ。

#1 砂の河～天上川

木村光理



「海へ行こう！」柊が言った。
「どうして？」と、俺はあえて尋ねる。
「目的なんて必要ないわ。いちいちうるさいわね」

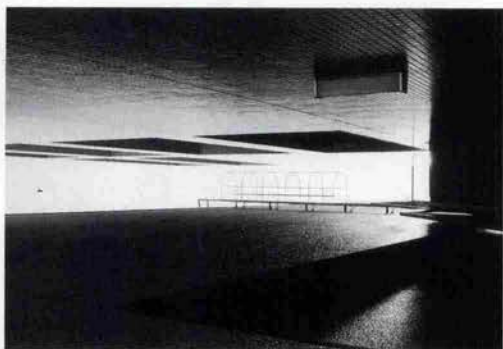
反抗的な態度。実に頼もしい。それに比べ草男ときたら俺の言うことに何でも同意するくせして、俺のことを誇大妄想狂のお化けだって言い触らしている。……まあいい。俺にはこいつらしか仲間がいないのだから。

隣町との境界線流れる河の岸に俺たちはいる。彼方に白く光る海。河には水がない。砂の河。きつと奴らの仕業だ。人間を連れた犬。俺は犬たちに愛想をふりまく。カメラにも収める。犬の力を俺は熟知している。それが俺の強み。風になら下がり、宙を浮遊する幼い人間たち。こいつらは危険だ。俺はコウモリ傘を手に一人で立ち向かう。なのに、柊も草男もまったくの無警戒。こいつらには真の危機が見えない。それは幸なことかもしれないが。

ようやく俺たちは海に出る。巨大な動く水溜まり。草男がギエーと奇声を発し、柊の厚い唇がその口を塞ぐ。俺一人が冷静という不幸の中にいる。海からやってくるものを俺がどんなに待ち焦がれているか、こいつらは知らない。俺は波打ち際に停止し、目が痛くなるほど海面を凝視する。

「移動するのよ、西へ！」神託のごとく柊が言う。

海沿いの道。潮の香りに紛れ込むあの匂い。かつて地球の第五消滅の時代にも匂った……俺はルートDを提案するが、二人は拒否する。彼らを選んだのは気まぐれルート。これが一番危険なのだ。奴らに発見されれば、路上に転が



撮影・矢島 潤 (本誌)

されて。俺たちは海と陸との間の扉の上をパランスを取りながら移動する。夥しい海鳥の群れが俺たちの頭上に集まる。彼らの姿で空が見えない。これも奴らの仕業だ。俺は背伸びし、コウモリ傘の先で突っ突く。雨のように降り注ぐ大粒の糞。終は昼飯の残りの野菜サンドを投げつける。その瞬間、闇が消え、光が降り注ぐ。良い兆候。海の方こうにキリンの群れがはつきり見える。

クレーンの角を持った巨大な矩形の箱の前を無事通り過ぎると、俺たちはフェリー乗り場と名付けられた、衰退と疲労と薄闇を孕んだ怪物にたどり着く。難敵の気配？ しかし、中にいたのは愛に疲れ切ったカップルと生活に疲れ切った中年人間たち。少なくとも彼らは敵ではない。ワンカップと鰯の缶詰とハイライトが彼らの戦利品。二階のゲームコーナーも彼らを籠絡することはできなかったらしい。俺は彼らに連帯の投げキッスを送る。

その時、待合室の巨大なテレビ画面が奴らを映し出す。真っ白な整った顔並び、整形された目鼻、満面の笑み、美しすぎるスタイル。奴らが手招きする。こっちへ来いと。何という誘惑。俺の背中に悪寒が走る。このままでは。

その時、草男がテレビに近づき、そつとスイッチを切る。さりとてした勇氣。周りからわきおこる拍手。もしかしたら草男はとんでもなく……「今日は帰ろう」終が言う。その声で俺は自分の疲労に気づく。そう、まだ先は長い。海から来るものをそんなに簡単に見つけることはできない。だから十分な休息が必要だ。

俺たちは次の土地との境を流れる天上川を海からゆつくりと溯る。